

# 独立役員届出書

## 1. 基本情報

会社名	株式会社 秋田銀行		コード	8343
提出日	2025/5/30	異動(予定)日	2025/6/25	
独立役員届出書の提出理由	定時株主総会に社外役員の選任議案が付議されるため			
<input checked="" type="checkbox"/> 独立役員の資格を充たす者を全て独立役員に指定している(※1)				

## 2. 独立役員・社外役員の独立性に関する事項

番号	氏名	社外取締役/ 社外監査役	独立役員	役員の属性(※2・3)												異動内容	本人の 同意		
				a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l			該当 なし	
1	榊 純一	社外取締役	○											○		○		訂正・変更	有
2	柿崎 環	社外取締役	○											○					有
3	伊東 裕	社外取締役	○											○					有
4	江畑 佳明	社外取締役	○											○				訂正・変更	有
5	田中 里沙	社外取締役	○											○				訂正・変更	有
6	面山 恭子	社外取締役	○											○					有
7	長谷部 光哉	社外取締役	○											○					有

## 3. 独立役員の属性・選任理由の説明

番号	該当状況についての説明(※4)	選任の理由(※5)
1	<p>榊純一氏は、当行と一般預金者としての通常の銀行取引がありますが、その規模および性質に照らして、同氏の独立性に影響を与えるものではありません。</p> <p>榊純一氏は、1980年4月から㈱IH Iに勤務、2012年4月に同社執行役員に就任、2016年4月から2018年3月まで常務執行役員を務めておりました。同社と当行との間には、通常の銀行取引がありますが、取引金額は同社の年間連結総売上高および当行の連結粗利益の1%未満であることから、同氏の独立性に影響を与えるものではありません。</p> <p>榊純一氏は、2021年4月より秋田大学電動化システム共同研究センター長を務めておられます。同大学法人と当行の間には通常の銀行取引がありますが、取引金額は同大学法人の年間事業収入および当行の連結粗利益の1%未満であることから、同氏の独立性に影響を与えるものではありません。また、当行は同大学法人に対して寄付を行っておりますが、金額は2百万円程度と僅少であることから、同氏の独立性に影響を与えるものではありません。</p>	<p>榊純一氏は、石川島播磨重工業㈱(現㈱IH I)に入社し、㈱IH I回転機械代表取締役社長を経て㈱IH I常務執行役員を務め、現在は秋田大学電動化システム共同研究センター長に就任しております。2018年6月に当行の社外取締役に就任し、企業経営者としての高い人格と豊富な経験、ならびに各種分野における幅広い見識に基づき、取締役会に対する助言・提言をいただいております。</p> <p>こうした専門的な知見と豊富な経験を踏まえた客観的な立場から経営を監督し、重要な意思決定に参画いただくことを期待し、社外取締役候補者としております。また、当行との間には特別の利害関係はなく、一般株主と利益相反が生ずるおそれがないことから、独立役員としております。</p>
2	<p>柿崎環氏は、当行と一般預金者としての通常の銀行取引がありますが、その規模および性質に照らして、同氏の独立性に影響を与えるものではありません。</p>	<p>柿崎環氏は、商法、金融商品取引法を研究分野とする大学教授として、内部統制やコーポレートガバナンスに関する高い見識を有しております。2021年6月に当行の社外取締役に就任し、専門分野等の高い見識に基づき、取締役会に対する助言・提言をいただいております。</p> <p>こうした専門的な知見と豊富な経験を踏まえた客観的な立場から経営を監督し、重要な意思決定に参画いただくことを期待し、社外取締役候補者としております。</p> <p>なお、同氏は過去に社外取締役または社外監査役となること以外の方法で、会社経営に関与した経験はありませんが、上記理由により、社外取締役としての職務を適切に遂行していただけるものと判断しております。また、当行との間には特別の利害関係はなく、一般株主と利益相反が生ずるおそれがないことから、独立役員としております。</p>
3	<p>伊東裕氏は、当行と一般預金者としての通常の銀行取引がありますが、その規模および性質に照らして、同氏の独立性に影響を与えるものではありません。</p> <p>伊東裕氏は、2023年4月より㈱ANA総合研究所常勤顧問を務めておられます。同社の持株会社であるANAホールディングス㈱と当行の間には通常の銀行取引がありますが、取引金額は同社グループの年間連結総売上高および当行の連結粗利益の1%未満であることから、同氏の独立性に影響を与えるものではありません。</p>	<p>伊東裕氏は、航空運送事業を中心とする企業グループにおいて代表取締役を経験しております。2023年6月に当行の社外取締役に就任し、企業経営者としての高い人格と豊富な経験、ならびにESG経営や法務等の幅広い見識に基づき、取締役会に対する助言・提言をいただいております。</p> <p>こうした専門的な知見と豊富な経験を踏まえた客観的な立場から経営を監督し、重要な意思決定に参画いただくことを期待し、社外取締役候補者としております。また、当行との間には特別の利害関係はなく、一般株主と利益相反が生ずるおそれがないことから、独立役員としております。</p>
4	<p>江畑佳明氏は、当行と一般預金者としての通常の銀行取引がありますが、その規模および性質に照らして、同氏の独立性に影響を与えるものではありません。</p> <p>江畑佳明氏は、2004年12月より北日本コンピュータサービス㈱代表取締役を務めておられます。同社と当行の間には通常の銀行取引のほか、当行のシステム保守にかかる経常的な取引がありますが、取引金額は同社の年間連結総売上高および当行の連結粗利益の1%未満であることから、同氏の独立性に影響を与えるものではありません。</p> <p>江畑佳明氏は、2007年8月より㈱秋田情報センターの代表取締役を務めておられます。同社と当行の間には通常の銀行取引がありますが、取引金額は同社の年間連結総売上高および当行の連結粗利益の1%未満であることから、同氏の独立性に影響を与えるものではありません。</p>	<p>江畑佳明氏は、秋田県内を代表するシステム開発・販売事業会社の代表取締役を長年にわたり務めておられます。2024年6月に当行の社外取締役に就任し、企業経営者としての高い人格と豊富な経験、ならびにIT・DXに関する高い見識に基づき、取締役会に対する助言・提言をいただいております。</p> <p>こうした専門的な知見と豊富な経験を踏まえた客観的な立場から経営を監督し、重要な意思決定に参画いただくことを期待し、社外取締役候補者としております。また、当行との間には特別の利害関係はなく、一般株主と利益相反が生ずるおそれがないことから、独立役員としております。</p>

5	<p>田中里沙氏は、当行と一般預金者としての通常の銀行取引がありますが、その規模および性質に照らして、同氏の独立性に影響を与えるものではありません。</p> <p>田中里沙氏は、2016年4月より学校法人先端教育機構の理事を務めております。同法人と当行との間には人材育成プログラムにかかる取引がありますが、取引金額は同法人の年間事業収入および当行の連結粗利益の1%未満であることから、同氏の独立性に影響を与えるものではありません。</p>	<p>田中里沙氏は、大学の学長等の要職を歴任されており、マーケティング、コミュニケーションに関する高い見識を有しております。2024年6月に当行の社外取締役就任し、専門分野等の高い見識に基づき、取締役会に対する助言・提言をいただいております。</p> <p>こうした専門的な知見と豊富な経験を踏まえた客観的な立場から経営を監督し、重要な意思決定に参画いただくことを期待し、社外取締役候補者としております。また、当行との間には特別の利害関係はなく、一般株主と利益相反が生ずるおそれがないことから、独立役員としております。</p>
6	<p>面山恭子氏は、1988年5月より面山恭子法律事務所の所長を務めております。同氏は当行と一般預金者としての通常の銀行取引がありますが、その規模および性質に照らして、同氏の独立性に影響を与えるものではありません。</p>	<p>面山恭子氏は、弁護士として債務整理、破産等の民事事件に関して豊富な経験、実績を有しており、2020年6月に当行の監査等委員に就任し、その専門的知見を当行の監査に反映されてきました。</p> <p>なお、同氏は直接会社経営に関与した経験はありませんが、引き続き専門的な知見を踏まえた客観的な立場から経営を監督し、重要な意思決定に参画いただくことを期待し、監査等委員である社外取締役として選任しております。また、当行との間には特別の利害関係はなく、一般株主と利益相反が生ずるおそれがないことから、独立役員としております。</p>
7	<p>長谷部光哉氏は、2015年9月より長谷部光哉公認会計士事務所の所長を務めております。同氏は当行と一般預金者としての通常の銀行取引がありますが、その規模および性質に照らして、同氏の独立性に影響を与えるものではありません。</p>	<p>長谷部光哉氏は、公認会計士、税理士として企業会計や税務等に関する豊富な経験、実績を有しており、2022年6月に当行の監査等委員に就任し、その専門的知見を当行の監査に反映されてきました。</p> <p>なお、同氏は直接会社経営に関与した経験はありませんが、引き続き専門的な知見を踏まえた客観的な立場から経営を監督し、重要な意思決定に参画いただくことを期待し、監査等委員である社外取締役として選任しております。また、当行との間には特別の利害関係はなく、一般株主と利益相反が生ずるおそれがないことから、独立役員としております。</p>

#### 4. 補足説明

##### 【社外取締役の独立性に関する判断基準】

当行は、以下の「社外取締役の独立性に関する判断基準」に基づく社外取締役を独立役員としております。

現在または最近（注）1において、次のいずれの要件にも該当しない者を独立役員とする。

- 1 当行を主要な取引先とする者（注）2またはその者が法人等である場合はその業務執行者
- 2 当行の主要な取引先（注）3またはその者が法人等である場合はその業務執行者
- 3 当行の総議決権の10%以上を保有する株主またはその者が法人等である場合はその業務執行者
- 4 当行から役員報酬以外に過去3年平均で年間100万円を超える金銭等を得ているコンサルタント、会計専門家または法律専門家（金銭等を得ている者が法人、組合等の団体である場合には、当該団体に所属する者をいう。）
- 5 次に掲げる者の二親等内の親族
  - (1) 上記1から4に該当する者（重要な者（注）4に限る。）
  - (2) 当行または当行子会社の取締役、監査役、執行役員および使用人
    - (注) 1 「最近」とは、社外取締役として選任する株主総会の議案の内容が決定された時点をいう。
    - (注) 2 「当行を主要な取引先とする者」とは、当該取引先の直近事業年度における年間連結総売上高の2%以上を当行との取引が占めている先、または、資金調達において当行に代替性がない程度に依存している先をいう。
    - (注) 3 「当行の主要な取引先」とは、当行の直近事業年度における連結粗利益の2%以上を当行に対して支払っている先をいう。
    - (注) 4 「重要な者」とは、業務執行者のうち役員・部長クラスの者、会計専門家・法律専門家のうち公認会計士・弁護士等の専門的な資格を有する者をいう。

※1 社外役員のうち、独立役員の資格を充たす者の全員について、独立役員として届け出ている場合には、チェックボックスをチェックしてください。

※2 役員属性についてのチェック項目

- a. 上場会社又はその子会社の業務執行者
- b. 上場会社又はその子会社の非業務執行取締役又は会計参与（社外監査役の場合）
- c. 上場会社の親会社の業務執行者又は非業務執行取締役
- d. 上場会社の親会社の監査役（社外監査役の場合）
- e. 上場会社の兄弟会社の業務執行者
- f. 上場会社を主要な取引先とする者又はその業務執行者
- g. 上場会社の主要な取引先又はその業務執行者
- h. 上場会社から役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家、法律専門家
- i. 上場会社の主要株主（当該主要株主が法人である場合には、当該法人の業務執行者）
- j. 上場会社の取引先（f、g及びhのいずれにも該当しないもの）の業務執行者（本人のみ）
- k. 社外役員相互就任の関係にある先の業務執行者（本人のみ）
- l. 上場会社が寄付を行っている先の業務執行者（本人のみ）

以上のa~lの各項目の表記は、取引所の規則に規定する項目の文言を省略して記載しているものであることにご留意ください。

※3 本人が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「○」、「過去」に該当している場合は「△」を表示してください。近親者が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「●」、「過去」に該当している場合は「▲」を表示してください。

※4 a~lのいずれかに該当している場合には、その旨（概要）を記載してください。

※5 独立役員の選任理由を記載してください。

※6 独立役員を1名以上確保できていない状況が生じた場合又は社外取締役を1名以上確保できていない状況が生じた場合、有価証券市場規程上の企業行動規範に違反する状態が発生することとなりますので、速やかに東証の上場会社担当者までご連絡ください。